

第3回 UDAC-SRIS 合同研究会

2024年度から本格稼働している
次世代放射光施設ナノテラスから創出される
多種多様な大規模の計測データを有効活用するため、
東北大学では、データ科学分野のUDACと
物質・材料科学分野のSRISが連携を強化し、
新しい技術の研究開発に取り組んでいます。
本研究会では、関連分野の研究者をお招きして、
最新情報および議論の機会を提供します。

2025.11.10

MON

15:30

17:30

現地
開催

参加無料

会場 東北大学片平キャンパス 多元研・南総合研究棟 2 (E03) 1F 大会議室

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/areae.html>



計測側から見たデータ駆動科学 (計測インフォマティクス) の裏側

科学の新しいパラダイムとして位置づけられつつあるデータ科学は、
通常「データが新しい発見や技術を推進する」と解釈されるが、今では
AIブームと相俟って「データが計算モデルを自動的に構築する」という
意味合いが強くなっている。

本トークでは、電子顕微鏡データを中心として計測とそのデータ解析への
今までのビジョンと取り組み、放射光との連携の現状を紹介し、
今後の方向性について私見を述べたい。



武藤 俊介

名古屋大学未来材料・システム研究所
高度計測技術実践センター 電子顕微鏡計測部

お問い合わせ

東北大学 未踏スケールデータアナリティクスセンター セミナー事務局

✉ udac_seminar@grp.tohoku.ac.jp